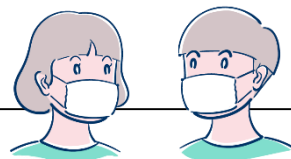


2021年度 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ・どろっぴサテライト 利用者アンケート結果

みんなで振り返る
コロナ禍での育児

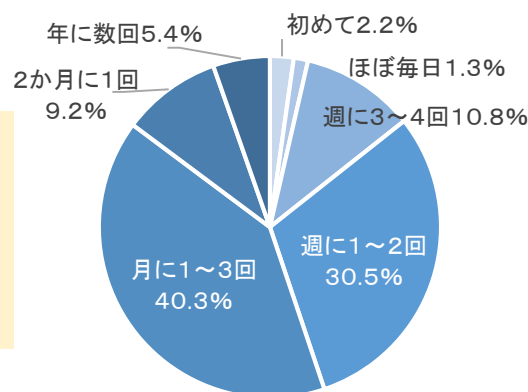
実施期間：2022年1月（14日間）
回答数：224（大倉山：107／サテライト：117）



利用者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回のアンケートは全てタブレット端末から回答いただきました。皆さんからいただいた貴重なご意見は、今後の運営に活かしていけるよう、スタッフ、港北区役所、関係機関、そして利用される皆さんと一緒に、検討する際の参考情報とさせていただきます。

Q；どろっぴ or どろっぴサテライトの利用頻度は どれくらいですか？

最も多かったのが月1～3日で40.3%、次に週1～2日が30.5%でした。昨年と大きな違いはなく、最多の回答は月に1～3回。ほぼ毎日は減少しました。やはりコロナの影響を心配してか、出掛けるのを躊躇されている方が、昨年に引き続き多い印象です。



Q；どのようなときに行きますか？（複数回答）

項目	割合	昨年度比
行く曜日を決めている	2.3%	-3.3%
どろっぴに用事があるとき	5.7%	-2.2%
予定がない時	21.6%	-35.0%
友だちに会いたいとき	4.5%	-6.8%
子どもの体調や機嫌を見て行けそうなとき	11.6%	21.5%
子どもを遊ばせたい時	25.2%	-40.4%
自分が誰かと話をしたいとき	8.2%	-9%
知りたいことがあるとき	2.4%	-1.6%
すいてそうなとき	5.4%	-14.5%
天候が良いとき	9.4%	-10.2%
近くに用事があったときのついでに	3.1%	-9.2%

どのようなときに行くかの設問に対して昨年度と比べに増加した項目は1つのみでした。

増加1位

「子どもの体調や機嫌を見て行けそうなとき」が増加しました。

減少1位

「子どもを遊ばせたいとき」「予定がないとき」も大きく減少しています。

「すいてそうなとき」「天候が良いとき」も減少しました。

みんなで話したい！

コロナの影響で引き続き、利用頻度や利用目的に考え方の違いが出ているのかもしれませんが、生活スタイルが変化し、ご自宅で過ごすのが方多くなった傾向がみてとれます。

しかし自宅で親子で過ごしながらか他の親子が、どれくらい外出しているのか何をして過ごしているのかなど、漠然とした不安を抱えている方もいるのではないのでしょうか。

自分が誰かと話したい、子どもを遊ばせたい、同年齢の親子と気軽にお喋りしてみたい

と思ったら、すぐに利用できる場所であることは、本来、どろっぴが大切にしたいと思っていることです。

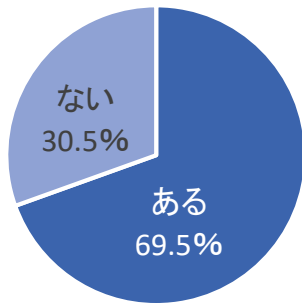
これからも、どろっぴは親子が遊んだり、気軽に話したり、また相談ができる場を皆さんと一緒に考え創っていきたく思っています。皆さんのアイデアがあれば、ぜひスタッフにお声がけください。



Q；コロナ禍での出産・子育てなどで困ったことや良かったことはありますか

良かったこと

コロナの助成制度で母乳外来や産前産後ヘルパーなど利用するハードルが下がった



ネットサービスの普及

本当に真剣に向き合ってくれる人と出会えた

パートナーの **在宅勤務** に関しては子どもの育ちを一緒に見れてよかった方もいれば気を遣ってしまった方もいました。

家事と育児の分担ができたこと

出産時の立会いや里帰りができない

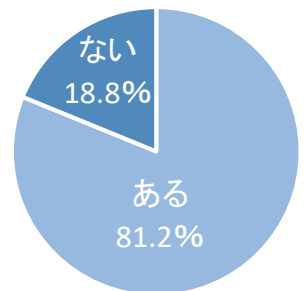
遊び場の制限

外に遊びに行けない時の子どもの騒音

悩みを共有できる友だちが出来なかった

マスクの育児で子どもの言葉や情緒の発達が心配

困ったこと



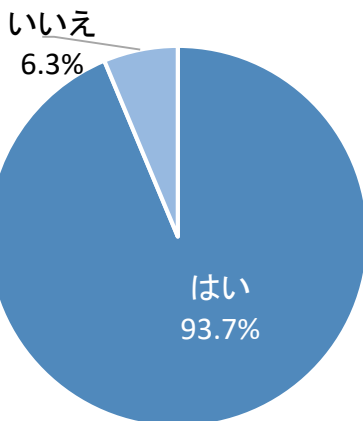
みんなで話したい！

どろっぷではオンラインでも様々なプログラムを開催しています。SNSを通して、より良い情報をお伝えしたり座談会を行っています。

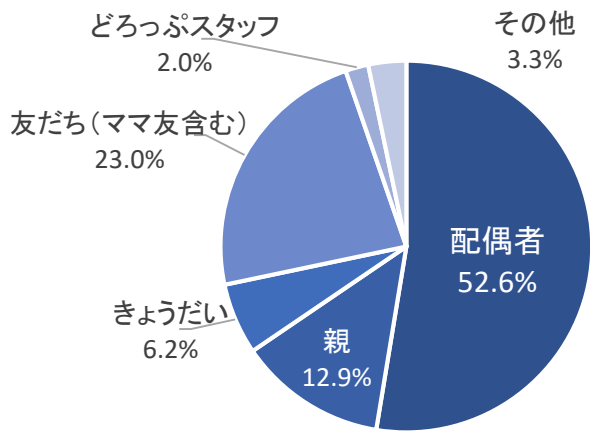
みなさんがご自身の状況に合うプログラムを見つけてみてください。

子ども達を取り巻く環境に悩む方も多くみられました。これらの心配事はスタッフや皆さんと一緒にアイデアを出し合っていきましょう。

Q；育児に関する相談相手はいますか？

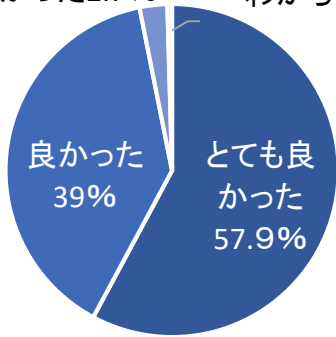


Q；一番よく相談する相手は誰ですか？



Q：どろっぶの居心地はいかがですか？

少し居づらかった2.7% わからない0.5%



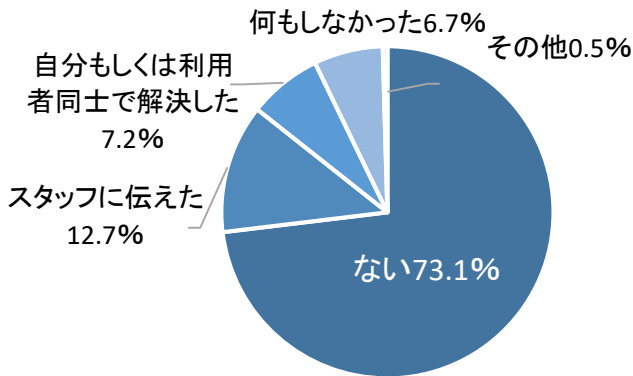
親子共にあるがママを受け止めてくれる

自分が子どもと、うまく遊べていないことが分かると落ち込む

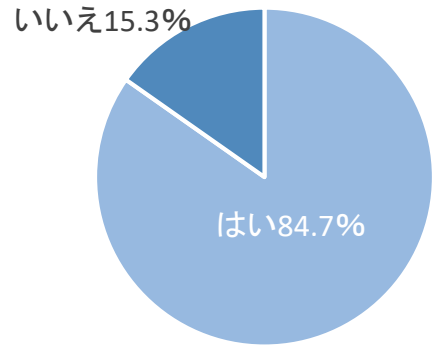
お子さんと、どろっぶで過ごすことが、子どもの育ちを見つめていると思います。どろっぶはいつでも子育て中の皆さんの伴走をしたいと思います。気になることなどありましたら、気軽に声をかけてくださいね。

Q：どろっぶにいる時に

困ったことはありますか？

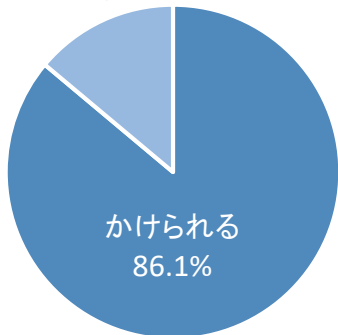


Q：どろっぶにいる時「手を貸してほしい」と周りにいる人にお願ひできますか？



Q：どろっぶで周りにいる人が困っていたら「手伝おうか」と声をかけられますか？

かけられない13.9%



自分が助けて貰った経験があるから。

自分の子どもで、いっぱいいっぱい。

どろっぶなら気にしなくて大丈夫よと言ってきて、気が楽になった。

コロナで相手が気にされている人だったら迷惑かなと考えてしまう



みんなで話したい！

利用者同士、思っていることは意外に同じかもしれません。「よかったら見ていますよ。抱っこしていてもいいですか」なんて聞いてしまうのもいいかもしれません。「ミルクを作る間、少し見てもらってもいいですか」が、すんなり言えたり小さなことをきっかけにして“ありがとう”の連鎖がはじまるかもしれません。どろっぶでは開館当初から、ボランティアさん、地域の方など、いろんな立場の幅広い年齢の方と関われるひろばを目指しています。ご自身が過ごしやすいように、思い思いの空間を作ってもらえたらと思います。どろっぶに来るとホッとするそんな居場所になってくれたら嬉しいです。

R2. だろっぷ7月～ サテライト8月

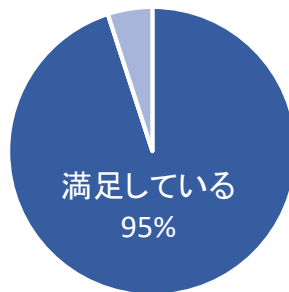
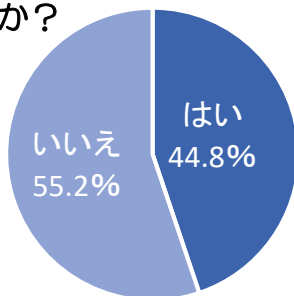
(一時預かり) スタートしました！！

Q；預かり中の子どもの過ごし方

どちらともいえない5%

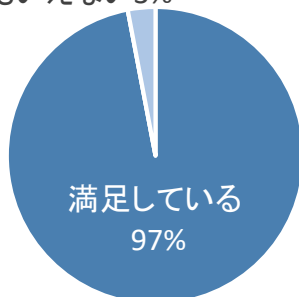
はいかがですか？

Q；「ひととき預かり」を
利用していますか？

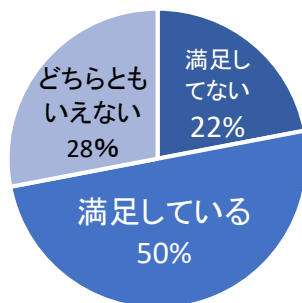


Q；利用してみ
役にたちましたか？

どちらともいえない3%



Q；預かり日数、
時間について



まだ、ひととき預かりを利用していない方も半分くらいの割合でしたが、だろっぷが家から近ければ預けたい、預けたい時に空いていれば預けたい、もっと長時間預けたいという意見もありました。

全体的には預かりのニーズがとても高く、預かり日数、時間、予約方法の満足度は半数には及ばず、しかし実際に利用した方からは、ひろばでみんなに見守られながら過ごす安心感もあったようです。皆さまからの率直なご意見ありがとうございました。

今年度、本格的にスタートしたばかりの、「ひととき預かり」です。皆さまのご意見を是非今後に活かしていきたいと思ひます。

Q；産前から今まで、これがあつたらいいと思ひものはありますか？

一時預かりの更なる充実

産前産後のヘルパーサービス

産後の宿泊施設やケア

保育園、幼稚園についての選ひ方や体験談がきける機会

二人目ママの交流やサービス

おむつや育児グッズのクーポンやレンタル

意見の高位順の
ものを列記

様々なご意見がありました。他の地域より手厚いと思ひている、充実しているという意見もありましたが、預かりサービス(夜や土日、急な預かり含む)の充実や二人目以降のサポート、子どもを遊ばせながら親がゆっくりに食事ができるところが欲しい、という意見もありました。

だろっぷは「子どもが真ん中、みんなで子育て」を合言葉に皆さんと一緒に創っていくひろばです。

これからも皆さんのご意見を元に今後の運営やプログラムを企画すると共に、

港北区の子育てが充実していくよう関係機関との連携も深めていきたいと思ひます。

